

# 日本人論の系譜（国際言語文化研究科言語文化学方法論）

日本人論が盛んなのはなぜか。その問いに答えることは、なぜ日本という国や国民が自己認識過剰なのかを考えることにもなる。それが日本文化は独特であると主張する人々の意識とどのような関係にあるかも、興味深い点である。

## Index

- I. キーワードを考えよう
- II. 用語を確認しよう
- III. 図書を探そう
- IV. 雑誌記事を探そう
- V. 新聞記事を探してみよう
- VI. 関連研究機関のサイトで情報を探してみよう

# 1. キーワードを考えよう

社会学的	日本人 日本 文化 伝統 国民性 性向 県民性
人類学的	起源 モンゴロイド アジア

- 考えたキーワードで、以降の図書・雑誌などを探していきましょう。

## 2.用語を確認しよう

- 手始めに事典をひくと、ものごとの概略が分かり、その後の調査が効率よく進みます。
- 事典などの説明を参考に考えましょう。



図書(の章節)

**タイトル** 世界大百科事典 全31巻 2005年改訂版  
平凡社刊行。日本を代表する百科事典のひとつ。

**ひとつこと紹介** 中央参 031//Se  
にあります。



図書(の章節)

**タイトル** 日本大百科全書

**ひとつこと紹介** 小学館刊行。全26巻の、日本を代表する百科事典のひとつ。中央館2階、法、教育、情言、留学生センター、情報連携基盤センター、医保健（第2版）の各図書館/図書室で所蔵しています。オンライン版は「JapanKnowledge」で利用可能です（学内限定）。



図書(の章節)

**タイトル** Encyclopedia of Japan



インターネット・DB

**タイトル** オンライン学術用語集

**リンク先URL** <http://sciterm.nii.ac.jp/cgi-bin/reference.cgi>

**ひとつこと紹介** 標準的な学術用語はオンラインで確認できます。



インターネット・DB

**タイトル** Japan Knowledge+

**リンク先URL** [http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db\\_details.html](http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html)

**ひとつこと紹介** 「日本大百科全書」「日本国語大辞典」「現代用語の基礎知識」「imidas」「Encyclopedia of Japan」ほか英和・和英辞典等をオンラインで検索できます。同時アクセス数は4。使い終わったら必ず「ログアウト」してください。

### 3. 図書を探そう

- 図書はNDC（日本十進分類法）の順に並んでいます。直接、図書館の棚に行ってみる場合は、関連する分類番号も見てください。

分類番号	分野
121	日本思想, 日本精神
2 1 0	日本研究, 日本民族
146.1	精神分析
302.1	政治・経済・社会・文化事情（日本の）
361.42	地方性, 国民性, 民族性
382.1	日本各地の風俗・習慣・民俗・民族（日本の）
389.1	民族学, 文化人類学（日本の）
469.6	人類学
469.6	人種誌

この分類以外にもあちこちに関連する本が配置されています。  
是非、OPACのキーワード検索で眠っている資料を探してみましょう！

- 附属図書館の利用案内を見れば、分類表や中央図書館の資料配置が分かります。
- OPACで調べる

オンライン目録（OPAC）を使って、名古屋大学の蔵書を調べることができます。

- 調べ方がわからない時は、ガイドシートリスト（OPACやデータベースの使い方）もあります。
- 国内で刊行されている図書を探す



タイトル Webcat Plus（連想検索）  
著者名 国立情報学研究所  
リンク先 <http://webcatplus.nii.ac.jp/>  
URL

ひとこと紹介 検索キーワードから関連性の高い単語を抽出しそれを含む図書をもれなく探し出す検索方法です。



タイトル 国立国会図書館 NDL-OPAC

リンク  
先URL <https://ndlopac.ndl.go.jp/>

ひとこと紹介  
 国立国会図書館(NDL)が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースです。  
 (国内で発行されたすべての出版物は、NDLに納入することが義務づけられています。そのためNDLは、国内の刊行物についてのデータを豊富に持っています)  
 ○図書や雑誌の検索 → 「一般資料の検索/申込み」をクリック  
 ○雑誌に載った論文を検索 → 「雑誌記事索引の検索/申込み」をクリック

- 名古屋大学で所蔵していない図書は、取り寄せて借りることもできます。所属別申込先一覧をご覧ください。
- 「日本人論」についての参考図書も見てみよう。



タイトル 文献目録日本論・日本人論の50年：1945-1995  
 著者名 日外アソシエーツ編集部  
 ひとこと紹介 中央参考にあり



タイトル 文献目録日本論・日本人論：1996～2006  
 著者名 日外アソシエーツ編集部編，日外アソシエーツ株式会社

図書(の章節)



タイトル 日本人の生活意識調査情報事典  
 著者名 竹内宏編，竹内宏（1930-）  
 ひとこと紹介 中央2階参考にあり



タイトル 日本人の事典  
 著者名 佐藤方彦編，佐藤方彦（1932-）  
 ひとこと紹介 中央2階参考にあり

- 入門・概説的な図書に掲載されている参考文献(引用文献) から関連資料を探すのもよい方法です。

(例)



タイトル 日本人論：明治から今日まで  
 著者名 南博著，南博（1914-2001）  
 ひとこと紹介 中央3階学習にあり



タイトル 単一民族神話の起源：＜日本人＞の自画像の系譜  
著者名 小熊英二<sup>1</sup>著，小熊<sup>1</sup>英二（1962-）  
ひとこと紹介 情報・言語，国際開発（他）にあり



タイトル 日本人と日本文化  
著者名 司馬遼太郎，ドナルド・キーン<sup>1</sup>〔対談〕，司馬<sup>1</sup>遼太郎  
（1923-1996），Keene, Donald（1922-）  
ひとこと紹介 中央3階学習にあり



タイトル 日本人の精神構造：伝統と現在  
著者名 寺沢正晴<sup>1</sup>著，寺沢<sup>1</sup>正晴  
ひとこと紹介 中央3階学習にあり



タイトル 「甘え」の構造  
著者名 土居健郎<sup>1</sup>著，土居<sup>1</sup>健郎（1920-）  
ひとこと紹介 中央3階学習にあり



タイトル 日本人論の方程式  
著者名 杉本良夫，ロス・マオア<sup>1</sup>著，杉本<sup>1</sup>良夫（1939-），Mouer,  
Ross E（1944-）  
ひとこと紹介 中央3階学習にあり

## 4. 雑誌記事を探そう



インターネット・DB

**タイトル** CiNii Articles (サイニイ) (一部の本文は学内限定)  
**著者名** 国立情報学研究所  
**リンク先URL** <http://ci.nii.ac.jp/>

**ひとこと紹介** 国内で刊行された雑誌記事を探することができます (主に学術雑誌・大学紀要・学会誌)。一部の雑誌については、論文全文をダウンロードし閲覧することができます。NULinkが利用できます。



インターネット・DB

**タイトル** MAGAZINEPLUS(学内限定)  
**リンク先URL** <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbjapanese.html#MAGPLUS>

**ひとこと紹介** 日本語で書かれた雑誌記事を探することができます。掲載雑誌がわかったら、オンライン目録 (OPAC) を使って、名古屋大学が所蔵しているかどうか調べることができます。同時アクセス数は1名です。



インターネット・DB

**タイトル** NDL-OPAC  
**リンク先URL** <http://opac.ndl.go.jp/Process>

**ひとこと紹介** 日本語で書かれた雑誌記事を探することができます。掲載雑誌がわかったら、オンライン目録 (OPAC) を使って、名古屋大学が所蔵しているかどうか調べることができます。

- 名古屋大学で所蔵していない場合は、コピーを取り寄せることもできます。

所属別申込先一覧をご覧ください。

- 調べ方がわからない時は、ホームページ「論文を探す」を見てください。
- 読みたい記事が載っている専門雑誌が見つかったら、通覧してみるのもひとつの方法です。



**タイトル** 日本研究  
**著者名** 国際日本文化研究センター  
**リンク先URL** <http://202.231.40.34/jpub/js/top2.php?lan=JP>  
**ひとこと紹介** 中央雑誌にあり

- 雑誌は分類順ではなく、雑誌名の順番に並んでいます。また所蔵館があっても、必ずしも全巻を持っているとは限らないので注意が必要です。

## 5.新聞記事を探してみよう

- 新聞のオンライン検索で、ニュースや解説記事を見つけられる場合もあります。



インター  
ネット・DB

タイトル 聞蔵IIビジュアル

リンク先URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbetc.html#KIKUZO2>

ひとこと紹介 朝日新聞のオンライン記事データベースです。創刊（1879年）からの記事を検索できます。AERA(1998年5月（創刊号）-)、週刊朝日（2000年4月-ニュース面）、現代用語「知恵蔵」最新版も検索できます。学内限定です（同時利用可能ユーザー数は1名）。必ず、[ログアウト]ボタンで終わってください。



インター  
ネット・DB

タイトル 中日新聞・東京新聞記事データベース

リンク先URL [http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db\\_details.html#CHU](http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html#CHU)

ひとこと紹介 中部地方の情報をくまなくカバーする中日新聞（1987～）のデータベース。学内限定、同時アクセス数は1名です。終了したら必ず[ログアウト]ボタンを押してください。



インター  
ネット・DB

タイトル 日経テレコン21（学内限定）

リンク先URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbetc.html#NK21>

ひとこと紹介 日経4紙『日本経済新聞』、『日経産業新聞』、『日経流通新聞MJ』、『日経金融新聞』の記事が収録されています。その他、企業検索「日経会社プロフィール」、人事検索「日経Who's Who」なども利用可能です。



タイトル ProQuest Newspaper  
リンク先URL <http://search.proquest.com/>



インター  
ネット・DB

タイトル LexisNexis Academic

リンク先URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbetc.html#lex>

ひとこと紹介 海外の新聞記事のほか、テレビのニュース番組の原稿など5,900以上の媒体が収録されています。学内限定です。

## 6. 関連研究機関のサイトで情報を探してみよう



インターネット・DB

**タイトル** 国際日本文化センター

**リンク先URL** <http://www.nichibun.ac.jp/>

**ひとつと紹介** 国際的・学際的・総合的な観点から日本文化に関する研究課題を設け、国内外から参加する様々な分野の研究者による共同研究を行なっている。



インターネット・DB

**タイトル** 国立公文書サイト (国立公文書館)

**リンク先URL** <http://www.archives.go.jp/>

**ひとつと紹介** 国立公文書館は明治政府が江戸幕府から引き継いだ日本や中国の古書・古文書、明治政府が集めた国内外の出版物を所蔵している。また明治以来の歴史的価値のある公文書等も所蔵している。



インターネット・DB

**タイトル** ライシャワー日本研究所 (ハーバード大学内)

**リンク先URL** <http://www.fas.harvard.edu/~rijs/>

**ひとつと紹介** 日本に関する研究を支援し、学術活動および知的交流を行う場を提供している。日本並びに日本研究への学術的・一般的な関心をハーバード大学、更に世界中で高めることを目的としている。



インターネット・DB

**タイトル** EAJS(European Association for Japanese Studies)

**リンク先URL** [http://www.eajs.org/japanese/publ\\_journals.html](http://www.eajs.org/japanese/publ_journals.html)

**ひとつと紹介** 地理的にヨーロッパに属するあらゆる国における日本研究分野の学術研究を奨励、振興することを目的としている。



インターネット・DB

**タイトル** NUL Academic Resource Cabinet-情報検索のとびら

**リンク先URL** <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/>

**ひとつと紹介** 学術情報探索のためのポータルサイトです

- インターネットの情報は誰でも発信が可能にもかかわらず、必ずしも正確だとは限りません。得られた情報は複数の情報源で確認し、裏づけをとることが重要です。また検索エンジンを使う時は、それぞれの特徴を調べて効果的に使いましょう。

代表的検索エンジン Google Yahoo

この情報への道しるべについてのご意見・ご質問は、附属図書館参考調査掛までご連絡下さい。